

フルミスト接種後の副反応への対応について

フルミストは経鼻インフルエンザ生ワクチンであり、インフルエンザ様症状（発熱、咳、鼻など）を接種 1～2 週間以内に発症する場合があります。ただし生ワクチンですが弱毒化されており、仮に発症しても数日の経過で自然治癒し重症化することはまずありません。

「うつす可能性」に対する過度な心配は不要です。海外では 10 年以上前より広く使用されており、集団感染の大きな問題は報告されていません。非常に稀なリスクであり、通常のインフルエンザウイルスと比較して感染力も病原性もはるかに低いため、マスク着用を義務付ける必要性は低いと考えます。症状が軽度であれば、普段のかぜ症状と同じ対応で十分で、特別な隔離や登園停止は不要です。

2025 年 10 月

日本保育保健協議会

感染症対策委員会